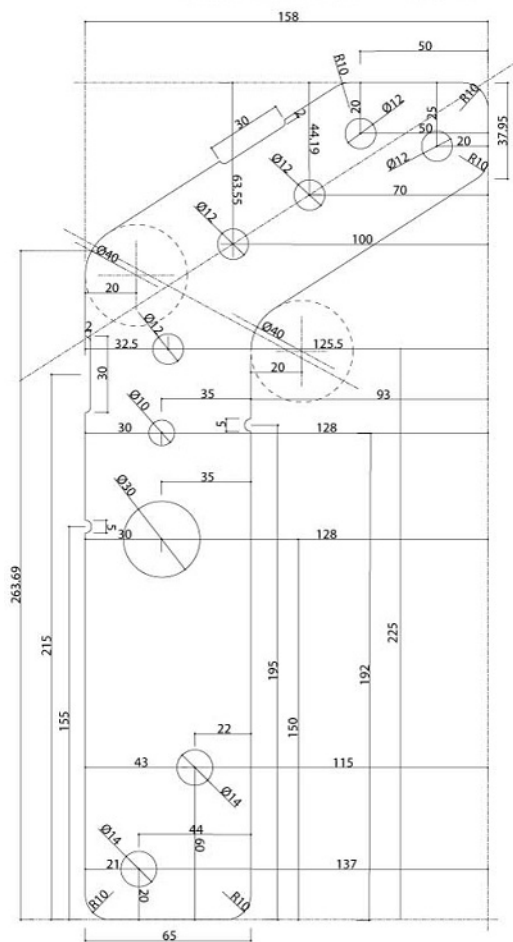


□AXX-R 施工参考図面集 ※本製品の材質は鋼材NO.45Cを採用しています。 本体に通常鉄鋼ドリル等での穴拡大加工は困難です。

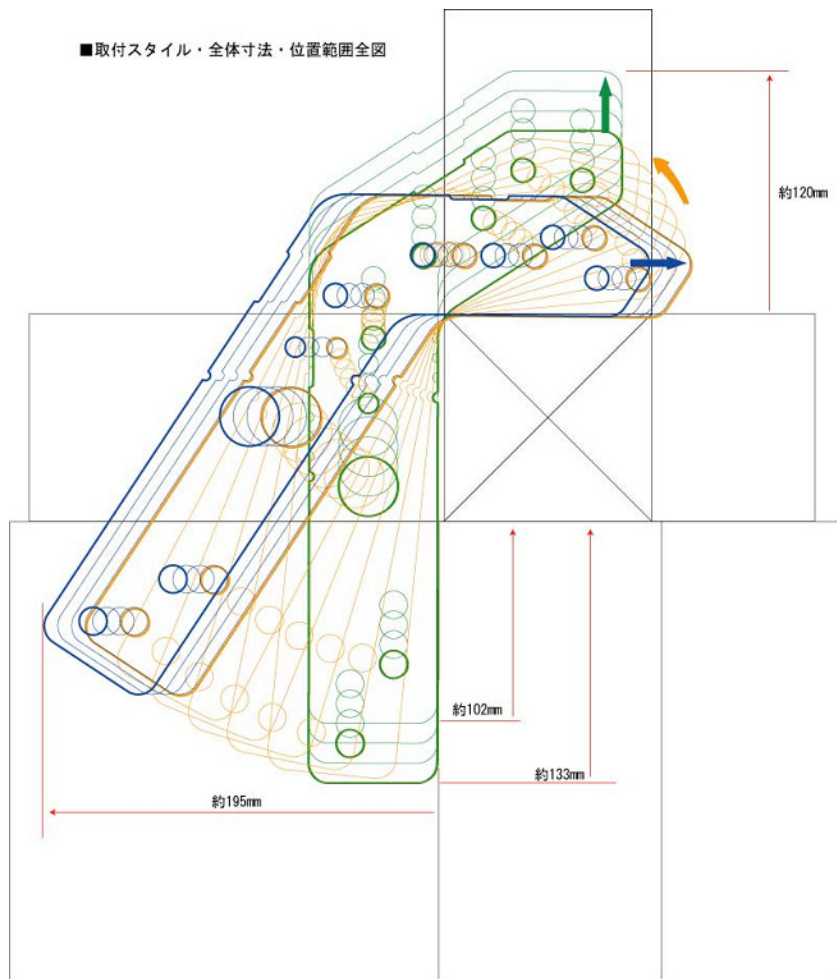


「特許」制震構造採用商品 第4285703号

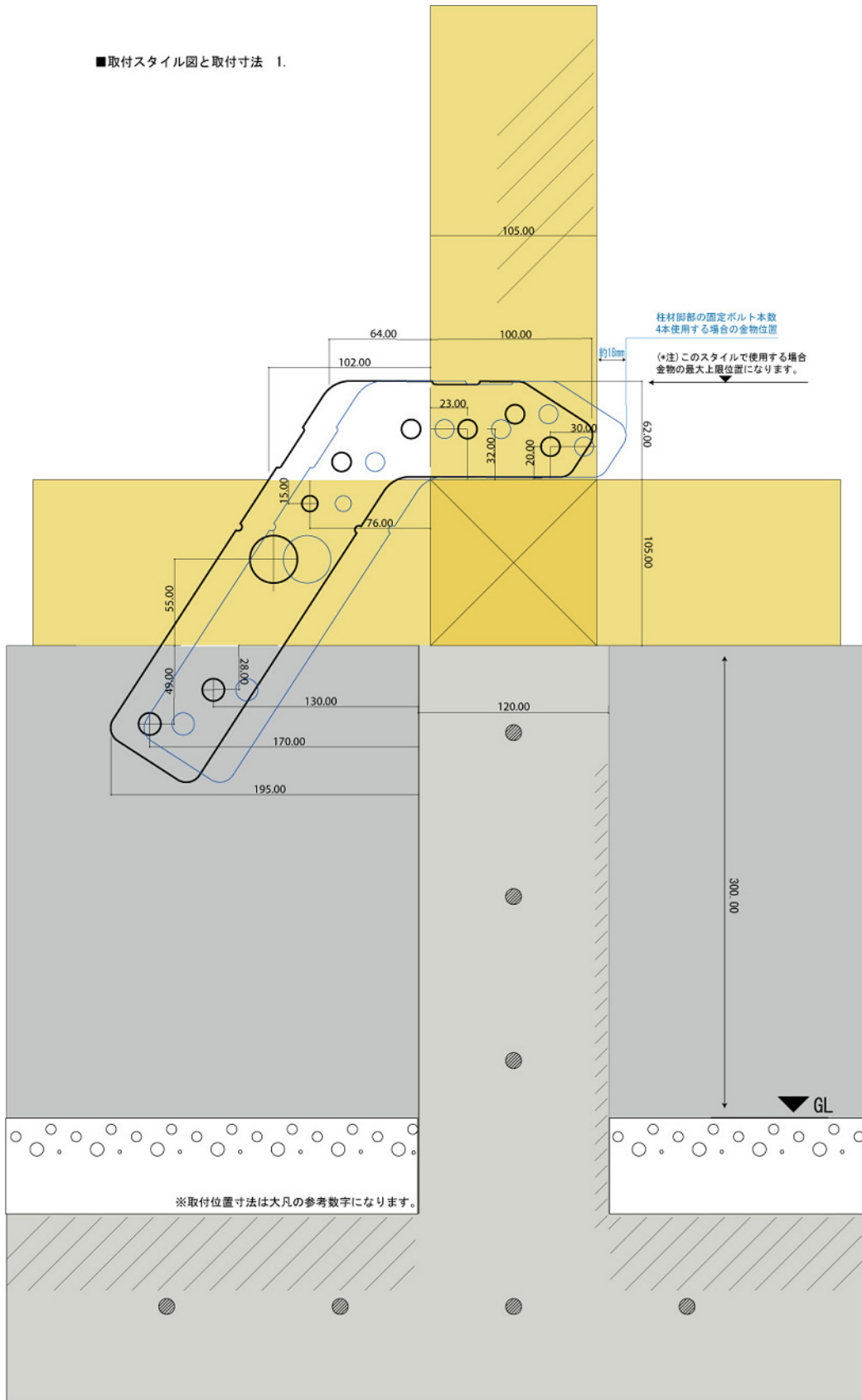
■AXX-R <柱材脚部結束金物> 寸法図面



■取付スタイル・全体寸法・位置範囲全図



■取付スタイル図と取付寸法 1.



□この製品は、柱結束補強を通常の取付方法で行うことが困難と考えられる場合に使用する「柱材脚部補強」及び「脚部結束金物」になります。

補強性能は金物本体耐力を下回る基礎固定ボルト「剪断力」耐力数値を表記しています。*別紙1を参考

限られた床下の構造条件下の中で「柱脚部をどうしても補強したい」と願う多くの現場からの声を製品化した、シナプス独自の商品です。

アクサール本体は、超硬質鋼材「NO.45C」を採用しており、破壊に至るには固定ボルト耐力を超える力を必要とします。また、異型でも引抜き時の固定点のズレ「ねじれ」にも強い抗張力を発揮します。

◇取り付け方について。

補強しようとする箇所は柱範囲が狭く、脚部端に等しい箇所にはボルトで固定する事になります。その為、金物本体耐力をフルに活かす事は困難な補強スタイルとなるため、アクサールの補強性能を本体耐力を下回る、基礎部の固定アンカー耐力を表記しています。(※アンカーボルト2本分の剪断力 約32KN) 十分な補強効果をつくり出すには、柱脚部のボルト位置や本数、金物角度調整を考慮する必要があります。

また、そうする事で、より確実な補強効果をつくる事ができます。

柱脚部取付は、金物を、より上部に取付けるようにします。

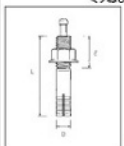
取付後の金物露出部対策と処理を工夫して下さい。

畳敷の部屋の柱脚部補強は、可能な限り畳上部すれすれまで上げます。

フローリング敷、フロー室内は幅木の厚みを利用した幅木内部納めや、アクセント的な囲いで段差を工夫など、造作経験を活かしたアイデアで頭出部分を隠すことができます。

*別紙1.

■サイズ表



品番	ねじの呼び (外径D)	全長 L	ねじ長さ L	取付 物厚	ドリル径 mm	コンクリート強度 $F_c 21\text{N/mm}^2$ (210kgf/cm 2)			埋込み深 h mm
						引張最大荷重	引張最大荷重	引張最大荷重	
C-845	M6	45	15	1~5	6.4	2.0	3.9	6.3	30
860		60	20	1~20		(200)	(400)	(652)	
840		40	15	1~5	8.5	3.2 (330)	5.4 (560)		25
850		50	20	1~5					
860	M8	60	20	1~15	10.5			10.1	35
870		70	25	1~25		3.5 (360)	6.9 (705)	(1,030)	
880		80	25	1~45					
810		100	35	1~55					
1050		50	20	1~6	10.5	4.0 (410)	8.5 (870)		30
1060		60	25	1~6					
1070		70	25	1~16					
1080	M10	80	25	1~26		7.1 (732)	11.5 (1,180)	16.0 (1,640)	
1090		90	30	1~36					
1010		100	30	1~46					
1012		120	30	1~66					
1015		150	30	1~96					

